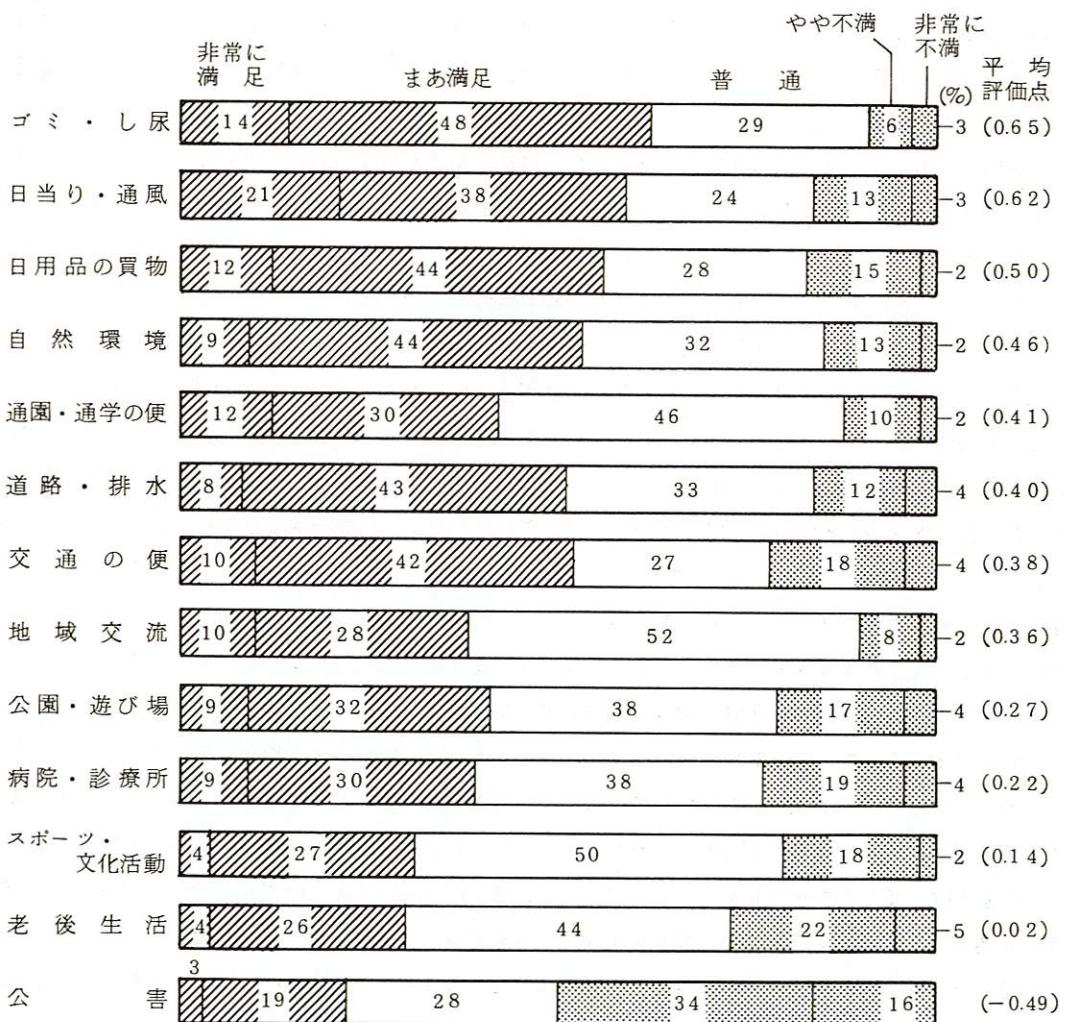


2. 生活環境の評価

2-1. 地域の生活環境

Q 3. [カード] 次に生活環境についてお伺いします。あなたは、地域の住み良さについて、ふだんどのように感じていますか。これからお聞きするひとつひとつについて、満足か、不満かをお答えください。

図2-1. 地域の生活環境



注) 平均評価点……「非常に満足」+2点、「まあ満足」+1点、「普通」0点、「やや不満」-1点、「非常に不満」-2点の得点をあたえ、その平均点が+2点に近づくほど満足が高く、-2点に近づくほど不満が多いことをあらわしている。

地域の生活環境をみると、「非常に満足」と「まあ満足」とを加えた満足率は「ゴミ、し尿」(62%)、「日当たり・通風」(59%)、「日用品の買物」(56%)、「自然環境」(53%)、「交通の便」

(52%)、「道路・排水」(51%)の6項目で5割を超え、「普通」の中立的評価をも含めると、13項目のうち12項目までが7割以上の好意的評価で占められている。唯一の問題は「公害」で、満足率22%、普通28%、不満率50%と不満評価が満足評価を大巾に上回っている。53年調査および57年調査では、居住地域の日常生活に密着した要因10項目と福生市全体の視点から判断する全市的要因8項目についてその満足度を問うたが、今回は全市的要因8項目の中から3項目（「自然環境」、「スポーツ・文化活動」、「老後生活」）を地域の生活環境評価として聞いている。そのため、厳密な意味での比較はできないが、これらの問題それ自体に対する満足度の違いを参考にすることはできよう。表1に示すとおり、53年調査と比べると57年調査は全般的に満足率が増大している（調査方法の違いによるものとみられる）が、57年調査から60年調査で満足率が増えているものは「ゴミ・し尿」(+1%)、「自然環境」(+5%)、「道路・排水」(+6%)、「スポーツ・文化活動」(+1%)、「老後生活」(+1%)の5項目だけである。

地域別にみると、不満率が満足率を上回っている項目がもっとも多いのはAブロックで、「通園・通学の便」「病院・診療所」「老後生活」「公害」の4項目に不満が多くなっている。また、Cブロックでは「交通の便」と「病院・診療所」に、Dブロックでは「自然環境」と「公害」に、Eブロックでは「スポーツ・文化活動」と「老後生活」にそれぞれ不満の声が多くなっている。

さらに、57年調査との比較を地域別にみると、Aブロックで前回よりも満足率が高くなっているのは「道路・排水」(33%→46%)と「病院・診療所」(22%→28%)の2つだけであり、Bブロックでは「道路・排水」をはじめ9項目について前回の満足率を上回っているが、「交通の便」は55%→44%と10%近く落ち込んでいるのがわかる。Cブロックでは「日当り・通風」が74%→62%へ、「公園・遊び場」が68%→55%へとかなりの低下を示したが、「自然環境」は62%→80%へと増大している。Dブロックでは「道路・排水」(35%→50%)と「ゴミ・し尿」(49%→63%)がよくなっているようであるが、「日用品の買物」(64%→51%)、「交通の便」(73%→55%)、「病院・診療所」(48%→34%)などには満足率の低下がみられる。Eブロックでは目立ってよくなっているものは見当らず、「通園・通学の便」(45%→34%)と「病院・診療所」(60%→47%)が10%以上低下している。Fブロックでは「道路・排水」(62%→44%)、「公害」(34%→21%)、「日当り・通風」(72%→53%)、「公園・遊び場」(47%→33%)、「自然環境」(60%→44%)と多くの項目で10%以上の満足率の低下がみられ、よくなっていると認められるのは「交通の便」(55%→71%)くらいである。最後にGブロックについていえば、10%以上の満足率の上昇がみられるものは「道路・排水」(47%→58%)だけで、逆に10%以上減少しているのは「公園・遊び場」(64%→49%)、「地域交流」(42%→29%)の2つであり全般的に満足率の低下がみられる。

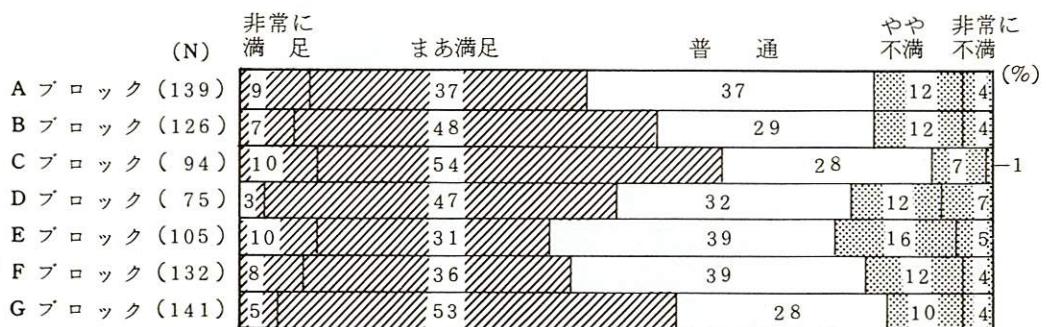
表1. 地域の生活環境(時系列)

	60年調査 (812)	57年調査 (797)	53年調査 (774)
ゴミ・し尿	62% 0.65点	61% 0.61点	43% 0.28点
日当り・通風	59 0.62	66 0.74	55 0.54
日用品の買物	56 0.50	59 0.57	44 0.27
自然環境	53 0.46	48 0.43	53 0.53
通園・通学の便	42 0.41	47 0.48	43 0.42
道路・排水	51 0.40	45 0.23	33 -0.12
交通の便	52 0.38	55 0.46	40 0.21
地域交流	38 0.36	40 0.40	26 0.06
公園・遊び場	41 0.27	49 0.36	37 0.10
病院・診療所	39 0.22	40 0.21	26 0.01
スポーツ・文化活動	31 0.14	30 0.13	25 0.09
老後生活	30 0.02	29 0.05	21 -0.10
公害	22 -0.49	23 -0.40	18 -0.49

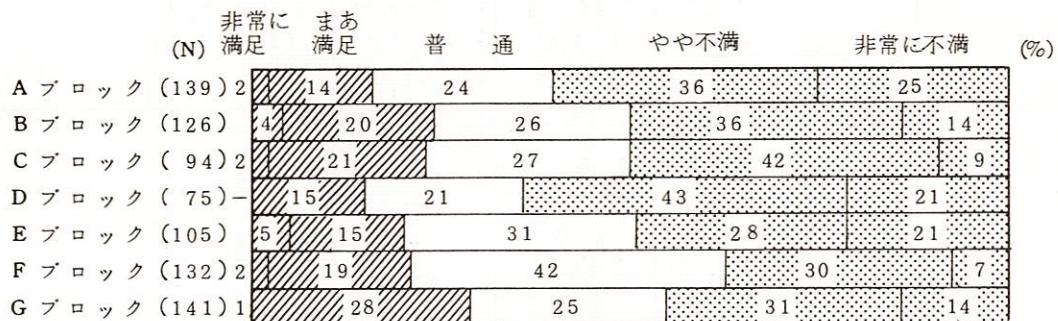
(上段:満足度)
(下段:平均評価点)

図2-2. 地域別にみた「地域の生活環境」

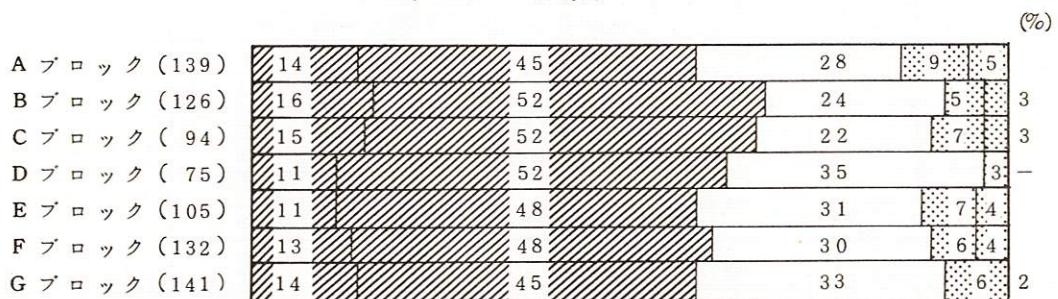
(道路・排水)



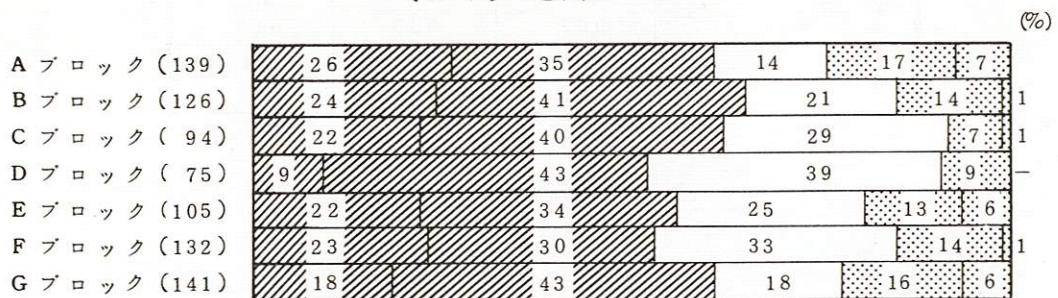
(公 告)



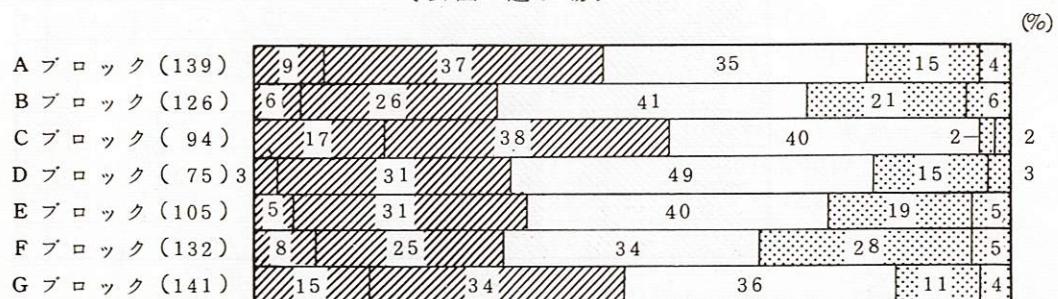
(ゴミ・し尿)



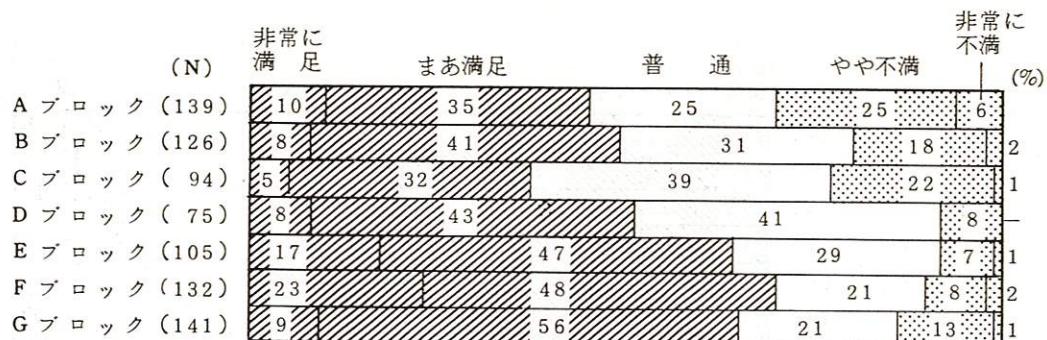
(日当り・通風)



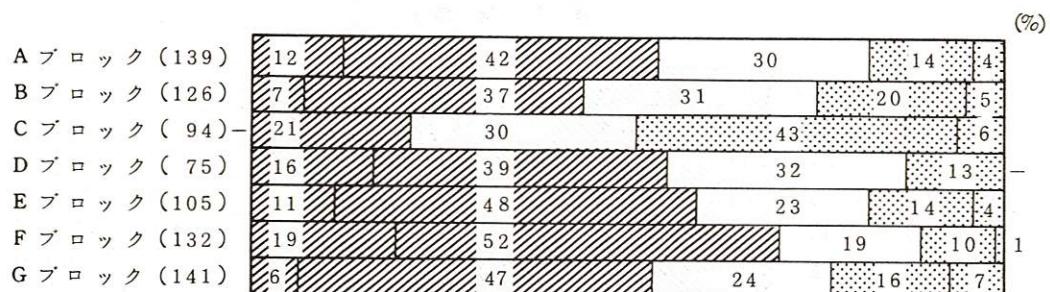
(公園・遊び場)



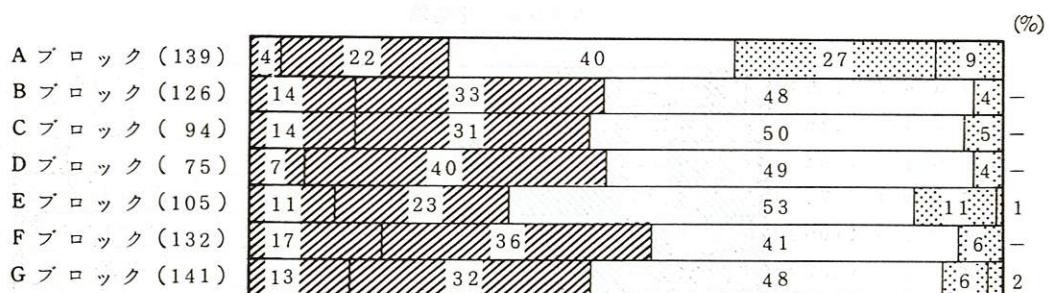
(日用品の買物)



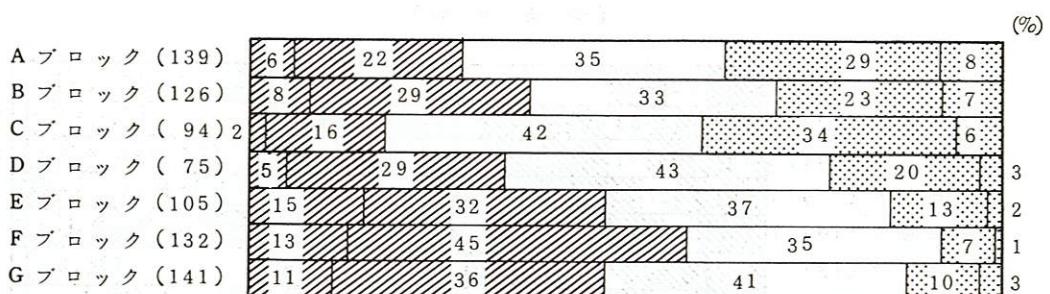
(交通の便)



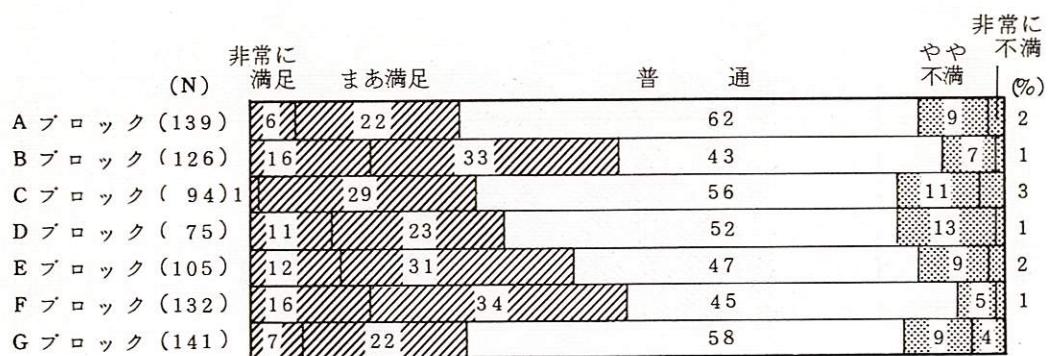
(通園・通学の便)



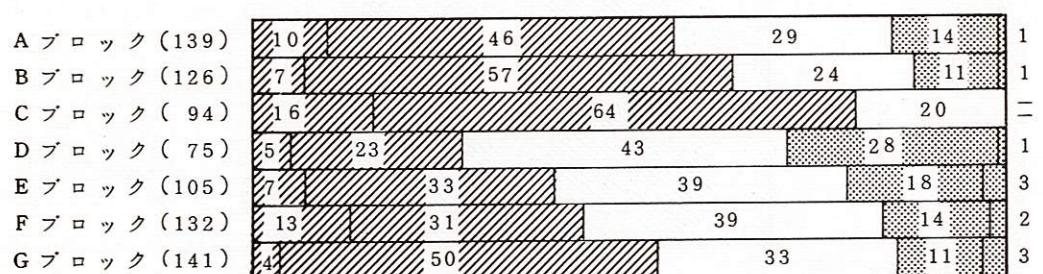
(病院・診療所)



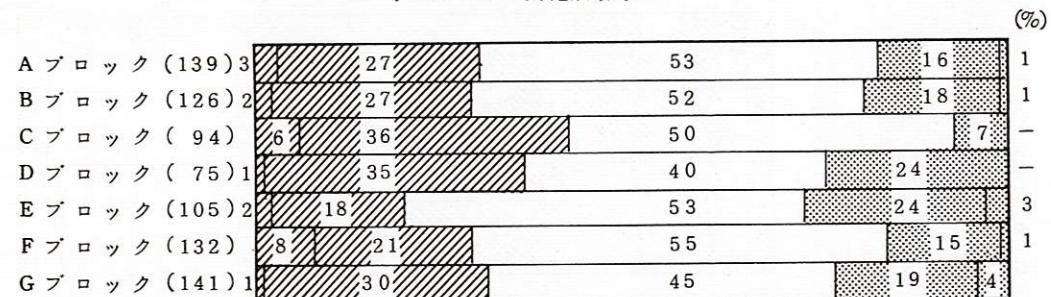
(地 域 交 流)



(自 然 環 境)



(ス ポ ー ツ ・ 文 化 活 動)



(老 後 生 活)

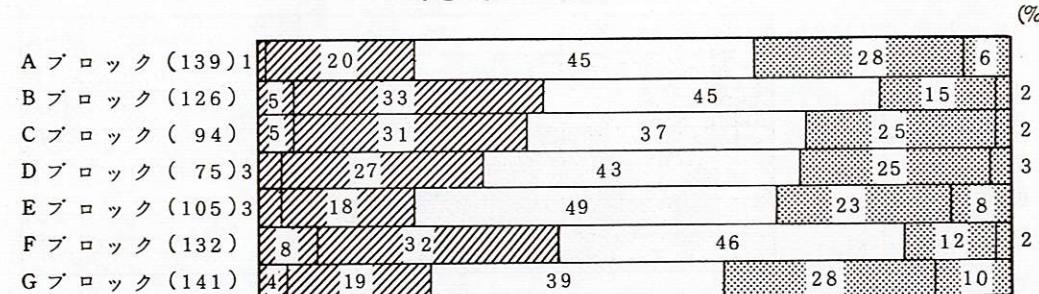
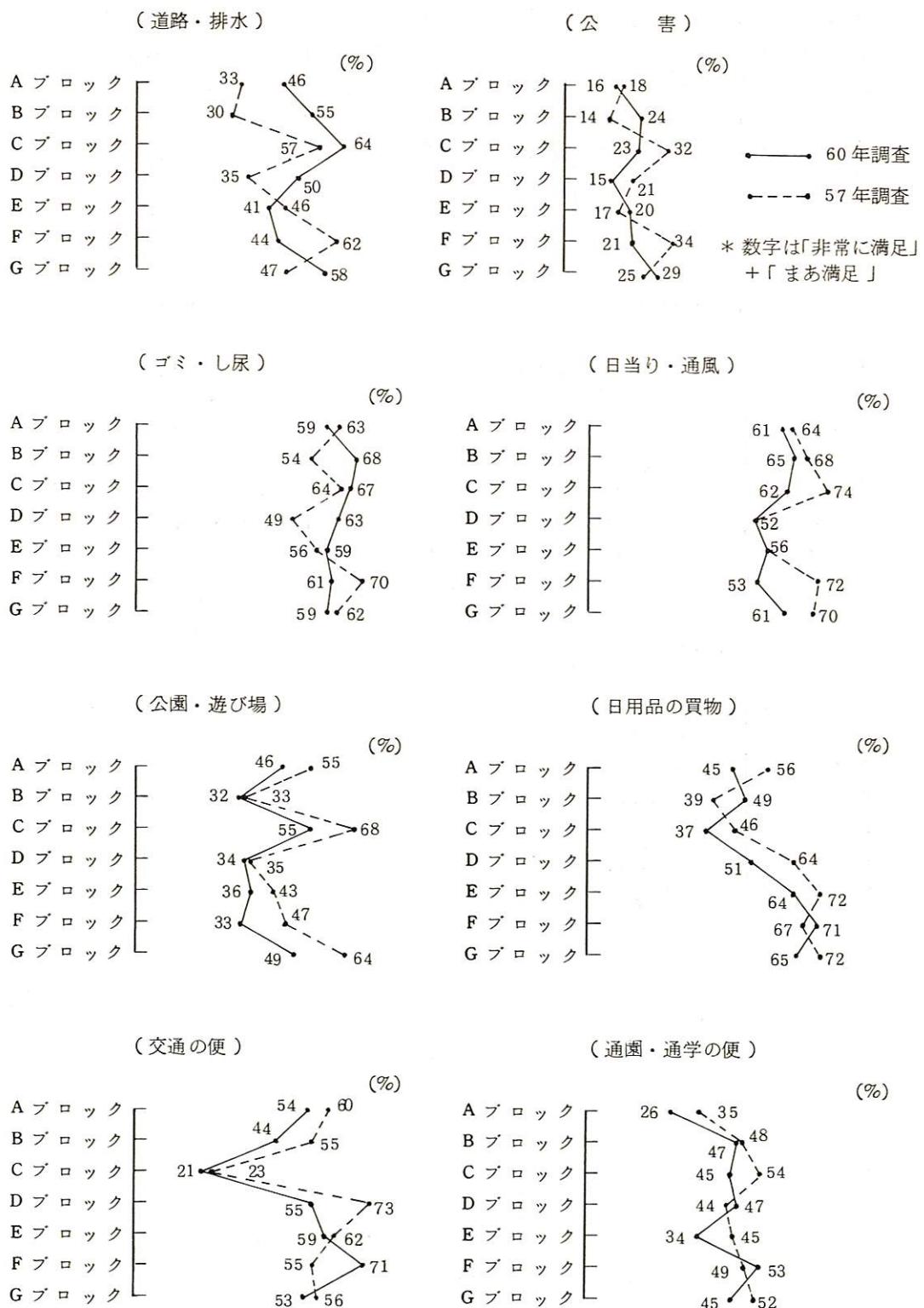
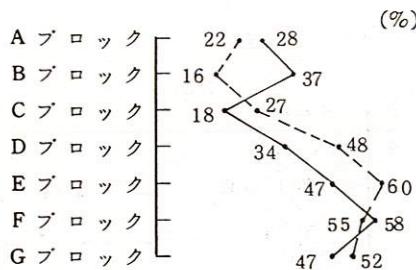


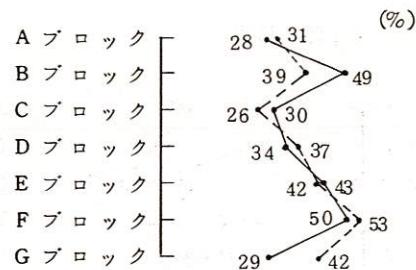
図2-3. 地域別にみた「地域の生活環境」(時系列)



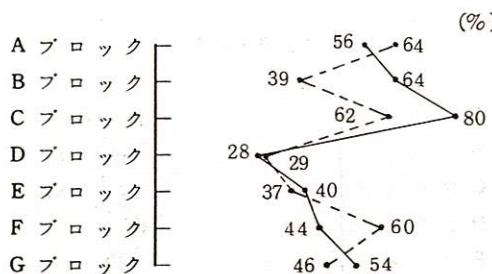
(病院・診療所)



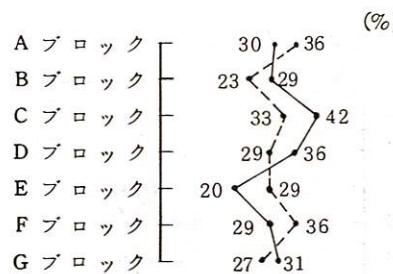
(地域交流)



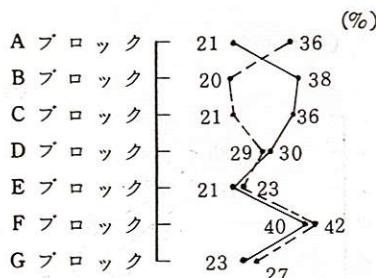
(自然環境)



(スポーツ・文化活動)



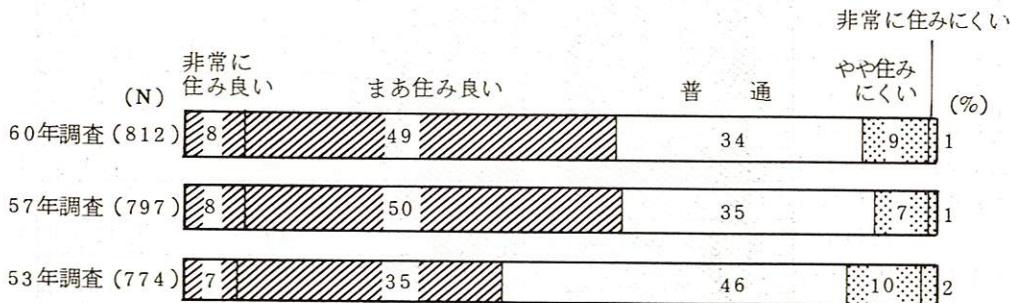
(老後生活)



2-2. 総合評価

Q 4. [カード] いろいろお伺いしましたが、一口にいって、福生市は住みよい所だと思いますか、それとも住みにくい所だと思いますか。この中からお答えください。

図 2-4. 総合評価



福生市全体を総合した住み良さについては、「非常に住み良い」、「まあ住み良い」を合わせて 57 % である。57年調査と比べると、「住みよい」、「住みにくい」、「普通」のいずれもそれほど変わっていない。

地域別にみると、F ブロックの総合評価がもっとも高く、「非常に住み良い」が 17 %、「まあ住み良い」が 48 % で計 65 % になる。逆に、「住みにくい」(「やや住みにくい」+「非常に住みにくい」) が平均を上回っている地域は D、E、G の 3 ブロックである。

性・年齢別にみると、生活環境に対して敏感である女性が男性に比べてそれほど厳しい見方をしていることもなく、性差はほとんどみられない。また、男女とも 30 代の評価が一番低くなっているが、これは小さな子供を持つ家族形成期の行政ニーズが高いという一般的な傾向の反映である。

次に、住居形態別にみると、木造アパートに住んでいる人の評価がもっとも低く、「住み良い」が 41 %、「住みにくい」が 19 % となっている。

なお、前述した地域の生活環境評価では個別的にかなり厳しい評価がみられたが、市全体の総合評価は生活環境評価を平均化した数値よりもかなり高くなっている。

図 2-5. 総合評価 (地域別)

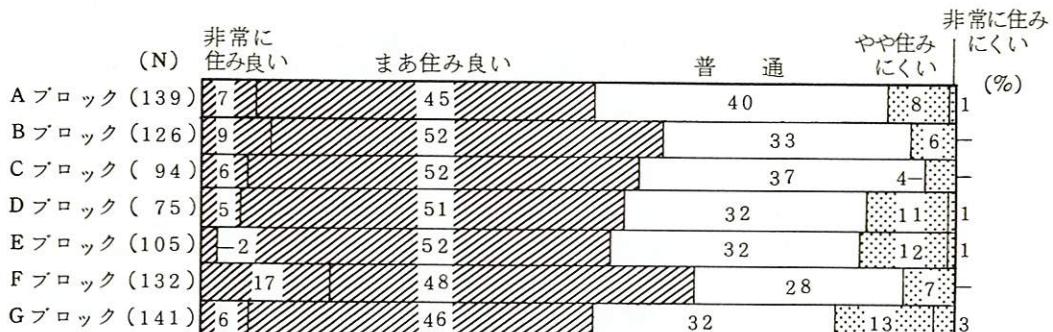


図2-6. 総合評価(性・年齢別)

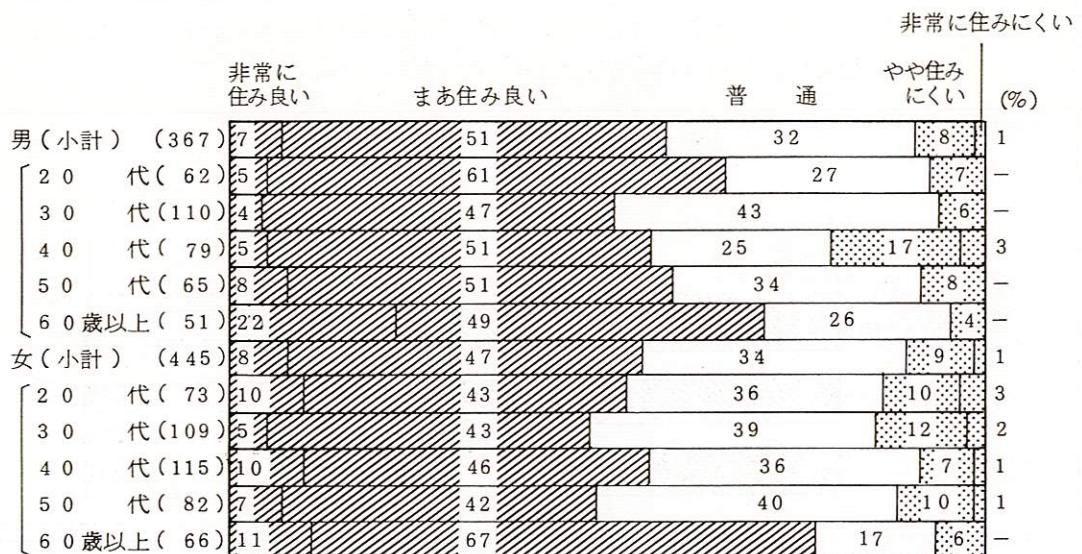


図2-7. " (住居形態別)

